

第2章 流域及び河川の自然環境

2-1 流域の自然環境

(1) 自然環境の概要

大井川はその水源を赤石山脈（南アルプス）の間ノ岳（標高 3,189m）、赤石岳（標高 3,120m）等の日本の屋根ともいわれる 3,000m 級の山々に発している。流域の地形は大部分が山地で、山地から開けた扇状地がそのまま駿河湾に達している。

大井川流域の植生は、南アルプスの高山植物から、低地にかけてのツガ、ブナ、シイ、カシと標高の変化につれて多様な植生を形成している。

土地利用は、上流の山地部では、山林がほとんどを占め、河岸段丘や日当たりのよい斜面に集落がみられ、茶畑等に利用されている程度であるが、下流部には牧之原台地の茶畑が広がるとともに、市街地や製紙工場をはじめ多くの工場が立地している。

大井川流域は、起伏の著しい山地と流水による激しい侵食から渓谷が形成され、接阻峡や寸又峡といった峡谷景観を作り出している上流域、隆起作用と下刻作用により「鵜山の七曲り」に代表される穿入蛇行が発達し、河岸段丘が形成されている中流域、扇状地地形の平野部の下流域に区分される。

[上流域]

周辺は標高 1,000m～3,000m 以上の急峻な山地で、アカシデ・イヌシデ群落、イヌブナ群集、スギ・ヒノキ植林等が分布する。河川は深い V 字谷を蛇行しながら流下する。大井川ダムより上流の渓流景観が形成される区間を上流域とする。

[中流域]

周辺は標高 500m～1,000m の山地で、スギ・ヒノキ植林等やコナラ群落が分布する。河川は穿入蛇行を繰り返し、「鵜山の七曲り」と呼ばれる独特の景観を形成しており、河岸段丘も形成されている。扇状地の扇頂付近から上流の大井川ダムまでの区間を中流域とする。

[下流域]

周辺は標高 500m 以下で、周辺には市街地や農地が広がる扇状地の区域。河道は複列砂州の河道で、網状の流路となり、広い砂礫の河原が形成されている。扇状地の扇頂付近から河口部までを下流域とする。



図 2-1 大井川流域の特徴ある自然環境

2-2 河川およびその周辺の自然環境

(1) 上流域の自然環境

大井川の上流域は、1,000m～3,000mの南アルプスの急峻な山地を、深いV字谷を刻みながら、流下する山付きの渓谷美に富む溪流環境が形成されている。

周辺の山地には、落葉広葉樹林等の広大な山林が広がり、国指定の特別天然記念物であるニホンカモシカをはじめとし、ツキノワグマ、ホンドキツネ、ニホンザルなどの哺乳類が生息している。



ニホンカモシカ



ツキノワグマ



急峻な山地にV字谷を刻み、蛇行しながら流下する大井川

源流域から上流域の河川には、魚類では、夏でも水温が15以下の清流の淵に生息するヤマトイワナや溪流に生息するアマゴの他ウグイがみられる。

鳥類では、ヤマセミ、カワガラス等の溪流性の鳥類が生息する。また、ダム の 湛水区域では、オシドリ等がみられる。

原生自然環境保全地域として、「大井川源流部自然環境保全地域」が本州で唯一指定され、分布の南限であるライチョウが生息する。

支川の源流部にはヒダサンショウウオやアカイシサンショウウオ等の両生類が生息する。



カワガラス



ライチョウ



支川を合わせ、蛇行しながら流下する大井川



瀬や淵を形成しながら、深い谷を流下する



ヒダサンショウウオ



アカイシサンショウウオ

(2) 中流域の自然環境

中流域は、山間地の渓谷を、穿入蛇行を繰り返し、瀬や淵、礫の河原を形成しながら、流下する河川環境を形成している。

河川周辺には山地が広がり、ニホンザル、ホンドタヌキ、ホンドキツネ等の哺乳類が生息する。



ニホンザル



ホンドキツネ



鷲山の七曲り

河川は山間を蛇行しながら流下し、瀬や淵が形成されており、アマゴやウグイ、アユ等が生息している。

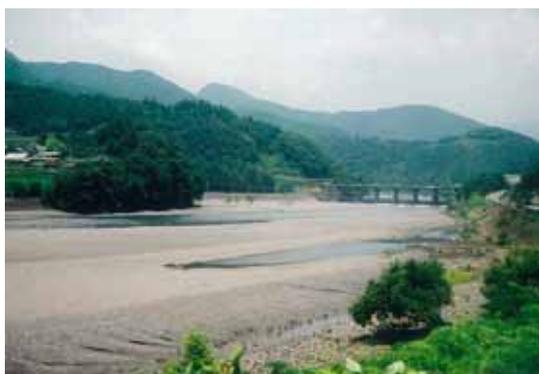


ウグイ



アユ

礫の河原が形成されており、セグロセキレイ、キセキレイ等がみられる。また、カワラケツメイ、カワラハハコ等の植物やツマグロキチョウ、コムラサキ、カワラバッタ等河原を代表する昆虫が生息する大井川中流域の河原は環境省の「日本の重要湿地 500」に選定されている。



礫の河原（塩郷堰堤下流）



セグロセキレイ



ツマグロキチョウ



キセキレイ

(3) 下流域の自然環境

下流域は、扇状地区間で、複列砂州の網状の流路となり、広い砂礫の河原を形成する河川環境を形成している。

河川周辺は市街化が進み、住宅地や工場等が広がっている。

河川は、広い砂礫の河原が広がり、コゴメヤナギやアキグミ等からなる河畔林がみられ、カワラケツメイ、カワラハハコ、カワラヨモギ等の砂礫河原に生育する植物が広く生育している。



砂礫河原が広がる（6～8km 付近）



コゴメヤナギ



砂礫の河原に繁茂する河畔林

砂礫河原に続く水辺にはコサギやアオサギ等のサギ類、イカルチドリやコチドリ等のチドリ類、セグロセキレイ等がみられ、コアジサシが中州で集団繁殖を行っている。



イカルチドリ



コアジサシ

カワラバッタやカワラスズ等の砂礫地に特有の昆虫類が生息する。また、カワラケツメイを食草とするツマグロキチョウも生息する。



カワラバッタ



カワラケツメイ

ワンドやたまりにはトノサマガエルやカジカガエルが生息している。



トノサマガエル



河原のたまり

大井川河口部は、鳥類や魚類等の重要な生息場となっており、「まもりたい静岡県の野生生物 県版レッドデータブック 2004」(平成 16 年 3 月 企画・静岡県環境森林部自然保護室)では、“今守りたい大切な自然” に選定されている。

河口部には砂州が形成されており、春にはコアジサシやアジサシ、シロチドリやコチドリ、ハマシギ、キアシシギ等のシギ類、アオアサギ、コサギ等のサギ類、冬にはカルガモ、コガモ、オナガガモ等のカモ類等の他、ミサゴ、オオタカ等もみられる。



大井川河口部



河口部の中州



コチドリ



コガモ

河口部はアユ等回遊魚やボラ等周辺性魚類の移動路となっている。河口付近から5km までの瀬がアユやアユカケの産卵場となっている。



アユカケ

(4) 大井川における重要種

河川水辺の国勢調査の生物調査結果をもとに、直轄区間における学術上または希少性の観点から選定した重要種を以下に示す。選定にあたっては、「文化財保護法」「文化財保護条例」、「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保全に関する法律」等の法律や条令で定められた種および環境省のレッドデータブック、静岡県版のレッドデータブック等の掲載種とした。

重要種選定基準
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「文化財保護法」「文化財保護条例」における国、都道府県、市町村指定天然記念物 ・ 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」国内希少野生動植物 ・ 「日本の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブック」掲載種 ・ (汽水・淡水魚類 H15、植物 (維管束植物) H13、鳥類 H14、両生類・爬虫類 H12、哺乳類 H14) ・ 「環境庁報道発表資料 レッドリスト」無脊椎動物 掲載種 ・ 「まもりたい静岡県の野生生物 県版レッドデータブック 2004 (植物編・動物編) 掲載種 H16

【大井川で確認された魚類の重要種一覧表】

科名	種名	指定区分	確認場所
ウナギ科	オオウナギ	静岡県版 RDB 要注目種 N-	大井川下流部
コイ科	タモロコ	静岡県版 RDB 要注目種 N-	大井川下流部
アカザ科	アカザ	全国版 RDB 絶滅危惧 類 静岡県版 RDB 絶滅危惧 B 類	大井川下流部
ヨウジウオ科	テングヨウジ	静岡県版 RDB 要注目種 N-	大井川下流部
カジカ科	アユカケ	静岡県版 RDB 準絶滅危惧	大井川下流部
ハゼ科	オカメハゼ	静岡県版 RDB 要注目種 N-	大井川下流部
ハゼ科	ヒナハゼ	静岡県版 RDB 要注目種 N-	大井川下流部
ハゼ科	カワヨシノボリ	静岡県版 RDB 要注目種 N-	大井川下流部

指定区分

全国版 RDB : 「日本の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブック」
汽水・淡水魚類 H15

静岡県版 RDB : 「まもりたい静岡県の野生生物 県版レッドデータブック 2004」
動物編 H16

【大井川で確認された底生動物の重要種一覧表】

科名	種名	指定区分	確認場所
モノアラガイ科	モノアラガイ	全国版 RDB 準絶滅危惧 静岡県版 RDB 準絶滅危惧	大井川下流部
サナエトンボ科	ホンサナエ	静岡県版 RDB 準絶滅危惧	大井川下流部

指定区分

全国版 RL : 「環境庁報道発表資料 レッドリスト」

静岡県版 RDB : 「まもりたい静岡県の野生生物 県版レッドデータブック 2004」
動物編 H16

【大井川で確認された植物の重要種一覧表】

科名	種名	指定区分	確認場所
ユキノシタ科	タコノアシ	全国版 RDB 絶滅危惧 類 静岡県版 RDB 準絶滅危惧	大井川下流部
アカバナ科	ウスゲチヨウジタデ	全国版 RDB 準絶滅危惧 静岡県版 RDB 準絶滅危惧	大井川下流部
ゴマノハグサ科	カワヂシャ	全国版 RDB 準絶滅危惧	大井川下流部
シソ科	ミゾコウジュ	全国版 RDB 準絶滅危惧 静岡県版 RDB 準絶滅危惧	大井川下流部
キク科	カワラニガナ	全国版 RDB 絶滅危惧 類 静岡県版 RDB 準絶滅危惧	大井川下流部
ヒルムシロ科	センニンモ	静岡県版 RDB 要注目種 N-	大井川下流部
バラ科	ピロドイチゴ	静岡県版 RDB 要注目種 N-	大井川下流部

指定区分

全国版 RDB : 日本の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブック」植物
(維管束植物) H13

静岡県版 RDB : 「まもりたい静岡県の野生生物 県版レッドデータブック 2004」
植物編 H16

【大井川で確認された鳥類の重要種一覧表】

科名	種名	指定区分	確認場所
サギ科	チュウサギ	全国版 RDB 準絶滅危惧	大井川下流部
タカ科	ミサゴ	全国版 RDB 準絶滅危惧 静岡県版 RDB 要注目種 N-	大井川下流部
タカ科	オオタカ	種の保存法希少野生動物 全国版 RDB 絶滅危惧 類 静岡県版 RDB 絶滅危惧 類	大井川下流部
タカ科	チュウヒ	全国版 RDB 絶滅危惧 類	大井川下流部
ハヤブサ科	ハヤブサ	静岡県版 RDB 絶滅危惧 類	大井川下流部
ハヤブサ科	コチョウゲンボウ	静岡県版 RDB 要注目種 N-	大井川下流部
チドリ科	イカルチドリ	静岡県版 RDB 準絶滅危惧	大井川下流部
チドリ科	シロチドリ	静岡県版 RDB 絶滅危惧 類	大井川下流部
カモメ科	コアジサシ	全国版 RDB 絶滅危惧 類 静岡県版 RDB 絶滅危惧 B 類	大井川下流部
ツバメ科	コシアカツバメ	静岡県版 RDB 準絶滅危惧	大井川下流部
サンショウクイ科	サンショウクイ	全国版 RDB 絶滅危惧 類 静岡県版 RDB 絶滅危惧 B 類	大井川下流部
ホオジロ科	ミヤマホジロ	静岡県版 RDB 準絶滅危惧	大井川下流部

指定区分

「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」国内希少野生動植物
全国版 RDB : 日本の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブック」
鳥類 H14

静岡県版 RDB : 「まもりたい静岡県の野生生物 県版レッドデータブック 2004」
動物編 H16

【大井川で確認された両生類の重要種一覧表】

科名	種名	指定区分	確認場所
ヒキガエル科	アズマヒキガエル	静岡県版 RDB 要注目種 N-	大井川下流部
アカガエル科	ニホンアカガエル	静岡県版 RDB 絶滅危惧 類	大井川下流部
アカガエル科	トノサマガエル	静岡県版 RDB 要注目種 N-	大井川下流部
アオガエル科	カジカガエル	静岡県版 RDB 準絶滅危惧	大井川下流部

指定区分

静岡県版 RDB : 「まもりたい静岡県の野生生物 県版レッドデータブック 2004」
動物編 H16

【大井川で確認された陸上昆虫類の重要種一覧表】

科名	種名	指定区分	確認場所
ツチカメムシ目	シロヘリツチカメムシ	全国版 RL 準絶滅	大井川下流部
シロチョウ科	ツマグロキチョウ	全国版 RL 絶滅危惧 類	大井川下流部
コガネムシ科	ヒゲコガネ	岡県版 RDB 情報不足 (DD)	大井川下流部
タテハチョウ科	コムラサキ	静岡県版 RDB 要注目種 N-	大井川下流部

指定区分

全国版 RL : 「環境庁報道発表資料 レッドリスト」
静岡県版 RDB : 「まもりたい静岡県の野生生物 県版レッドデータブック 2004」
動物編 H16

なお、は虫類及び哺乳類では重要種は確認されていない。

2-3 特徴的な河川景観や文化財等

大井川上流域は接岨峡や寸又峡に代表されるような深い峡谷や井川湖や畑薙湖に代表されるようなダム湖が連続している。周辺の山々にはスギやヒノキ等の人工林と自然林が混在し、南アルプス国立公園や奥大井県立自然公園の一部となっている。

中流部は鷓山の七曲りに代表される穿入蛇行となっていて兩岸の河岸段丘は茶畑がならび、川とお茶の景観が特徴的である。曲流部の高水敷には下流部と同じヤナギ林があり、ここには森林性の鳥（サンコウチョウ、カラ類）が見られる。

大井川の下流部は広い河川敷いっぱい発達した砂州と網状に流れる水が特徴ある景観となっている。砂州は常に移動するなど不安定であるため植物は生育せず、砂礫と水の空間となっている。しかし、左岸 13km、18km、右岸 14km、20km、24km 付近の高水敷上にはヤナギ林が発達し、水辺の鳥（サギ類）や森林性の鳥（カラ類）を見ることができ、又、河口付近では多数の鳥類を観察することができる。

また、大井川は、かつての駿河、遠江の国境であり、また江戸時代には東海道の難所であったため川越制度がしかれ、独自の文化を形成してきた。そのため流域には貴重な史跡や独自の文化が現在まで伝承されてきた。このようなことから、大井川流域には多くの文化財が存在し、このうち国、県指定の史跡・名勝・天然記念物は 14 件、文化財は 34 件が存在する。

（史跡・名勝・天然記念物）

番号	指定別	種別	名称	所在地	指定年月日
1	国指定	史跡	諏訪原城跡	島田市菊川	S50.11.25
2	国指定	天然記念物	智満寺の十本杉	島田市千葉（智満寺）	S37.6.29
3	国指定	史跡	島田宿大井川川越遺跡	島田市河原	S41.8.1
4	県指定	史跡	旧東海道菊川坂石畳	島田市菊川	H13.11.26
5	県指定	天然記念物	安田の大シイ	島田市大城安田	S33.10.30
6	県指定	天然記念物	慶寿寺シダレザクラ	島田市大草	S31.1.7
7	県指定	天然記念物	香橋寺の大ナンテン	島田市阿知ヶ谷	S33.4.15
8	県指定	天然記念物	上相賀の大カヤ	島田市上相賀	S32.12.25
9	県指定	天然記念物	杉沢の大カヤ	島田市本杉沢	S32.12.25
10	県指定	天然記念物	大井川鷓山の七曲りと朝日段	川根町葛籠	H9.11.28
11	県指定	天然記念物	浅間神社の鳥居スギ	川根本町徳山	S46.8.3
12	県指定	天然記念物	津島神社の五本スギ	川根本町田野口	S46.8.3
13	県指定	天然記念物	二軒家の大カヤ	島田市二軒家	S32.5.13
14	県指定	天然記念物	竜門の滝（横臥褶曲）	島田市神尾	S54.3.15

（文化財）

番号	指定別	種別	名称	所在地	指定年月日
1	国指定	無形文化財	藤守の田遊び	大井川町藤守	S52.5.17
2	国指定	絵画	絹本着色釈迦十六善神像	島田市大草（慶寿寺）	S25.8.29
3	国指定	彫刻	阿弥陀如来及諸尊像列立龕	島田市千葉（智満寺）	S25.8.29
4	国指定	重要文化財	千葉山智満寺	島田市千葉（智満寺）	S25.8.29
5	国指定	建造物	智満寺本堂附本尊千手観音厨子	島田市千葉（智満寺）	S41.6.11
6	国指定	彫刻	本尊木造千手観音立像	島田市千葉（智満寺）	S25.8.29
7	国指定	重要無形民俗文化財	徳山の盆踊	川根本町徳山	S62.12.28
8	県指定	建造物	医王寺薬師堂	島田市古横町	S60.10.5
9	県指定	絵画	医王寺薬師堂天井画	島田市古横町	S58.2.25
10	県指定	彫刻	鷓田寺木造薬師如来坐像	島田市野田	S33.4.15
11	県指定	工芸	鷓田寺鱧口	島田市野田	S31.10.17
12	県指定	工芸	白山神社鱧口	島田市大城	S31.10.17
13	県指定	無形民俗文化財	猿舞	島田市東光寺	S52.12.20
14	県指定	書籍	紙本墨書称讃浄土經	島田市千葉	S37.2.17
15	県指定	建造物	智満寺元三大師厨子	島田市千葉	S31.1.17
16	県指定	建造物	智満寺仁王門	島田市千葉	S31.1.17
17	県指定	建造物	智満寺中門	島田市千葉	S31.1.17
18	県指定	建造物	智満寺薬師堂	島田市千葉	S31.1.17
19	県指定	建造物	智満寺薬師如来厨子	島田市千葉	S31.1.17
20	県指定	無形文化財	手揉製茶技術	島田市伊太	H2.10.26
21	県指定	建造物	静居寺伽藍舎6棟	島田市旗指	H11.11.16
22	県指定	建造物	静居寺惣門	島田市旗指	H8.3.12
23	県指定	建造物	天徳寺山門	島田市大草	S31.5.24
24	県指定	無形民俗文化財	島田鹿島踊（帯祭り）	島田市大井町	S32.5.13
25	県指定	無形民俗文化財	島田帯祭の大名行列	島田市大井町	H8.3.12
26	県指定	文化財	大般若経六百巻	川根町家山	S33.9.2
27	県指定	有形文化財（工芸）	わに口	川根本町千頭	S31.10.17
28	県指定	有形文化財（工芸）	わに口	川根本町千頭	S31.10.17
29	県指定	有形文化財（工芸）	わに口	川根本町青部	S50.3.25
30	県指定	有形文化財（工芸）	わに口	川根本町東藤川	S50.3.25
31	県指定	文化財	鳥居スギ（徳山浅間神社）	川根本町徳山	S46.8.3
32	県指定	無形民俗文化財	田代神楽	川根本町田代	S60.3
33	県指定	無形民俗文化財	徳山神楽	川根本町徳山	H8.3.12
34	県指定	無形文化財	梅津神楽	川根本町梅地	S47.3.24



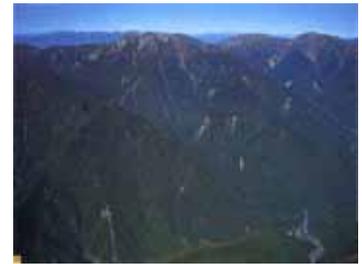
史跡・名勝・天然記念物位置図



文化財位置図

- 南アルプス国立公園

本州中部を南北に走る赤石山脈を中心としたわが国屈指の山岳国立公園で、総面積は 35,752ha である。南アルプスと呼ばれている地域は、一般的には長野県諏訪湖付近を頂点として、東は富士川、西は天竜川に挟まれた三角形の東西最大 40km、南北 120km に及ぶ広大な山岳地帯のうち、身延山地・伊那山地を除いた主要部を指定している。



南アルプス

- 奥大井県立自然公園

総面積 8,531ha で、大井川と安倍川の上流にあり、雄大な展望のきく山々と美しい渓谷、原始林、豊富な高山植物、野生生物、温泉に恵まれた公園である。



奥大井県立自然公園

- 井川湖・畑^{はたなご}湖など

大井川上流域には、ダム湖が連続しており、井川ダムの井川湖、畑^{はたなご}第一ダムの畑^{はたなご}湖が広い水面を湛えている。なお、水力発電所は、大井川水系に 15 ヶ所（681,270kW）あり、世界で最も高い中空重力式ダムの畑^{はたなご}第一ダムがある。



井川ダム

- 接岨峡

井川ダムから下流 10km にわたって続く大井川本流の渓谷で、両側から谷が迫り、うっそうとした原生林が深山の趣を感じさせる。



接岨峡

- 寸又峡

大井川支流寸又川の渓谷で、谷は深く、両岸の岩壁から大小の滝が落ち込み、山肌はモミヤツガ、スギなどの森に包まれている。



寸又峡

- 鷓山の七曲り

大井川は川根町家山付近で約 4 km にわたり大きく蛇行する。この蛇行はしわのように隆起した地層に川が流れ込んでできたもので、全国的にも大変珍しく県の天然記念物に指定されている。



鷓山の七曲り

- 朝日段公園

川根町倉平地内の標高 670m にあり、屈曲鷓山の七曲りを見下ろすことができる。また、天気の良い日には、遠くに南アルプスの山々、富士山も望むことができ、望遠鏡、展望台も整備されている。

- 野守^{のもり}の池

大井川の蛇行部分が堰き止められてできた周囲約 1.5km の小さな池で、鎌倉・室町期の名僧夢窓国師にちなんだ伝説が残り、池の名もこれに由来している。コイやヘラブナの釣り場として親しまれ、春はサクラの名所として訪れる人が多い。



野守の池

- 家山の桜トンネル

県下有数の桜の名所として名高い川根町の中でも最大の見所で、大井川鉄道沿いに続く約 1km の道が桜でうめつくされ、その脇を SL が走る風景が楽しめる。



家山の桜トンネル

- 吊り橋

大井川中上流部には、数多くの吊り橋が大井川や支川を跨ぐ。中でも塩郷の吊り橋は長さが 220m もあり、大井川にかかる吊り橋では最長である。



塩郷の吊り橋

- 不動の滝

落差は約 45m、1 年中水飛沫を飛ばし、周囲に涼感を届ける。夏は涼しく、秋には紅葉が見事。古くから修験者の修行の場としても知られ、最近まで滝で、身を清める人の姿も見られた。



不動の滝

- 茶畑と大井川

大井川周辺の河岸段丘や台地上には列状の茶木が栽培されており、大井川特有の景観を醸し出している。



茶畑と大井川

- 大井川鐵道

大井川と併走するように島田市新金谷駅から川根本町千頭駅を結ぶ路線でSLも運行されている。また、千頭駅から井川駅までの区間には、日本で唯一アプト式区間がある。



大井川鐵道

- 釣り

大井川では、上流部の渓流から下流部の河口まで多種の魚が生息し、アマゴ、イワナ、アユ、ウグイ、コイ、フナ、ウナギなどを釣ることができる。



釣り

- ^{まきのほら}牧之原大茶園

大井川西岸の牧之原台地は茶どころ静岡を代表する大産地で、5市1町にまたがる6,500haの大茶園が形成されている。



牧之原大茶園

- 牧之原公園

牧之原大茶園の一角にあり、眼下に大井川、遠く富士山、駿河湾までを一望におさめる好展望地である。園内には中国から日本に茶をもたらし^{えいさい}た禅僧栄西禅師の立像、茶業記念碑などがある。また、カタクリの群生地があり3月下旬～4月下旬頃が見ごろである。



牧之原公園からの眺望

- 蓬萊橋

明治12(1879)年、大井川にかけられた木造橋で、全長897.4m、幅約2.5mである。橋脚はコンクリートになったが、上部構造は昔のままである。蓬萊橋は農道としての重要な役割を担うほか、貴重な歴史的施設として大切にされている。



蓬萊橋

- 大井川の礫河原

大井川下流部では、川幅いっぱいまで礫河原が広がる雄大な景観が随所から望める。



礫河原

- 静岡県営吉田公園

大井川河口右岸の吉田町川尻地先に開設される、14.3haの県営公園で、園内は、数多くの花が植えられており、ピオトープ池や遊具も整備されている。



静岡県営吉田公園

- 大井川河口野鳥園

大井川河口一帯は渡り鳥の休養地として多くの野鳥が飛来する。それらの鳥たちが安心して休息できるように、大井川河口左岸の大井川町飯淵地先に1.8haに人工的な池や樹木などを植えた周辺の自然環境に近く、人が近寄れない野鳥園が造られた。園内には2階建ての観察小屋が建てられており、アオサギ、カルガモ、ヒバリなど80種以上が確認されている。



大井川河口野鳥園

2-4 河川にまつわる歴史・文化

(1) 歴史・史跡

- 島田宿大井川川越遺跡（島田市）

東海道の難所として知られた大井川には川越制度がしかれ、幕府管理の施設や川越人夫たちの番宿や商いの店が並び賑わっていた。

その一部として川越しの料金を決めて川札を売る川会所や、川札を換金する札場、川越人足の集会所である番宿などが復元保存されている。



大井川川越遺跡川会所

- 大井神社（島田市）

大井神社では3年に一度日本三奇祭のひとつ「島田の帯祭り」が行われている。大井川の上流・川根本町大沢から流着したという伝承を持つ大井神社は、大井川沿いを中心に74社あったといわれ（現在46社）、しばしば氾濫する大井川から土地を守り、子孫繁栄を祈ったのが最初と考えられている。島田大井神社は江戸時代には「大井大明神」と仰がれ、島田宿の氏神としてまた旅人の守り神として信仰されてきた。



大井神社

- 舟形屋敷（藤枝市、大井川町ほか）

かつて氾濫を繰り返していた大井川下流域では、氾濫に対しての自衛策として水屋が作られた。洪水流が来る上流側の石積みや土手を高く築き、その様子を上空から見ると舟の舳先や三角に見えるため、舟形屋敷（三角屋敷）と呼ばれている。



舟形屋敷

- 大井川八幡宮（大井川町）

大井八幡宮は、社伝によれば平安時代の初期延暦年間（781 - 805）に、大井川の水霊を鎮めるため「大井神」として祀ったのが始まりとされ、鎌倉時代建久年中（1189 - 1198）遠州豊田郡の八幡宮（現磐田市府八幡宮）から八幡神を勧請し、やがて「大井神」と合祀され「大井八幡宮」と呼ばれ藤守郷の中心的な鎮守となった。



大井川八幡宮

- 旧東海パルプ地名^{しな}発電所（静岡県近代化遺産）

明治 43 年、東海紙料（現東海パルプ）の自家発電用として建設された。現存しているレンガ造りの発電所は貴重な建造物で、「日本の近代土木遺産（改訂版）・現存する重要な土木構造物 2,800 選」（土木学会出版）に選定されている。（川根本町）



旧東海パルプ地名発電所

(2) 文化

- 駿河神楽

大井川流域や隣接する安倍川流域の上流部では神楽が盛んである。これらの神楽を総称して、駿河神楽と呼び、現在は約 30 箇所では伝承されている。儀式の基本である五方の取り方などの違いから“安倍・井川型”と“藁科・川根型”の二つに分けられる。大井川流域では、梅津、徳山、青部、田代、みさき、平栗、崎平、横岡八幡、笹間、井川、寸又神楽などが伝承されている。



駿河神楽（梅津神楽）

- 平田のたるながし

「平田（ひらんだ）のたるながし」は、川根本町の接岨地区に伝わる夏の恒例行事として、同町の大井川長島ダムで行われる。「たるながし」は麦わらを巻いたたるに紙幣や供物をのせ、松明をつけて大井川に流すもので、疫病退散と大井川の安全、恵みを祈願して数百年前から行われている。

- ヤマメ祭り（静岡市指定無形文化財）

ヤマメ祭りは、正式には十六夜祭といわれ、諏訪神社例大祭に伴って伝承される特殊神饌儀礼である。妙神谷と呼ばれる禁漁地で釣られたヤマメが粟漬け（鯔の一種）され、神前に饗されるところから、「ヤマメ祭り」と呼ばれるようになった。



ヤマメ祭

- 小河内のヒヨンドリ

ヒヨンドリの起源は定かではないが、イセソーホーなる人物が曲物の製作技術とともにヒヨンドリ行事を伝授したと伝えられている。

元旦の早朝、頭屋（公民館）に集合した人々が提灯を片手に村内を 1 周し、かつては村で唯一の共同の水場であった井戸に向かう。頭屋と井戸の前では独特の節回しに特徴のあるヒヨンドリの役歌を音頭取りが納められる。歌の内容は、日伏せを中心に村の安泰、家内安全を祈るものである。ヒヨンドリと称する行事は、大井川、天竜川流域を中心に様々な形で伝承されてきた正月行事である。



ヒヨンドリ

● 徳山の盆踊り（国指定重要無形民俗文化財）

徳山の盆踊りは、鹿^{しかんまい}ン舞、ヒーヤイ踊り、狂言の3部作で構成されている。「鹿ン舞」は、農作物を荒らす獣を追い払い五穀豊穡を願う古舞で、少年がオス1頭メス2頭の鹿にふんして踊る。「ヒーヤイ踊り」は、京の舞妓姿で歌舞伎に通ずる踊りで、これに狂言が加わる。この形態は古歌舞伎踊りの初期形態を伝承し、動物仮装が添えられ、地域性にも富んでいるものである。



徳山の盆踊り

● 帯祭り（島田市）

300年前の元禄八年に始まった大井神社の祭式神事で、寅、巳、申、亥年の3年に一度、御神輿の渡御とそれに先立つ大名行列（県指定無形民俗文化財）が、10月中旬の3日間開催される。



帯まつり

● 大井川川越祭り（島田市）

江戸時代、大井川では架橋も渡船も許されず、大井川兩岸の島田宿と金谷宿には川庄屋が置かれ、十組の川越人足延べ550人ほどが川越しの任にあたっていた。その往時の賑やかだった川越しを再現したお祭りである。



大井川川越祭り

● 大井川花火大会（島田市）

大井川をはさんだ旧島田市と旧金谷町の兩岸から同時に打ち上げられる花火大会で、川の兩岸から同時に打ち上げられる花火の炸裂音は、あたりに響き渡り、また両方の花火を同時に鑑賞できる。



大井川花火大会

● 藤守の田遊び（大井川町）

藤守の田遊びの伝承由来は古く、遠く平安時代に大井川の水霊を鎮守するところから始まったとされている。田遊びは「お能」「わざおぎ」とも呼ばれ、また神社の記帳には「猿田楽」とされている。この古風な呼び方こそ、古代・中世の農耕儀礼であった田楽芸能の伝播と定着を示すものといえる。



藤守の田遊び

2-5 河川環境に関わる地域の活動

大井川では、自然と共生する豊かな地域社会の構築を理念として大井川流域及びその周辺地域において、地域住民・民間非営利組織・企業及び行政組織とのパートナーシップを図りながら、自然環境の保全や社会教育活動の推進、高度情報社会への移行促進活動を行うこと及びパートナーに対して、活動支援に関する事業を行い、地域社会の活性化に寄与することを目的に「大井川流域ネットワーク」の活動が平成12年9月より展開されている。

大井川流域ネットワーク活動内容

ビオトープづくり支援活動
学校、企業、公園等への自然環境構築支援
非営利団体の活動・情報発信支援
地域のNPOの活動補助、事務代行、情報発信（インターネット構築）
環境教育プログラムの構築やアドバイス
自然体験活動、総合学習、生涯学習プログラムの作成やアドバイス
環境調査・環境に配慮した設計・アドバイス
循環型社会の構築に向けたこれからの社会資本整備
大井川流域の歴史・文化・自然環境調査
流域内の社会／自然環境のデータベース
企業のエコアップ活動支援
企業の環境人材教育、環境プログラム構築支援

大井川流域ネットワーク主な活動実績

学校ビオトープ見学交流会 2000年11月
21世紀の森づくり 植樹祭 実行委員参加 2001年3月
フェスタ六合 ネイチャークラフトづくり イベント 2002年1月
里の楽校 開校 地域の宝物探し事業 2002年5月～2003年2月
大井川みずがきネットワーク 2003年3月～
大井川子どもキャンプ 2005年8月
大井川もりみず守り隊結成 2006年5月
奥大井接岨湖フェスティバル参加 2006年7月

2-6 自然公園等の指定状況

大井川流域では、自然公園法に基づく区域として、流域最上流部の南アルプス国立公園のほか、大無間・小無間及び光岳・赤石岳・茶臼岳・塩見岳に代表される奥大井県立自然公園が指定されている。また、自然環境保全法により、指定を受けている区域は、大井川源流部原生自然環境保全地域(川根本町)があり、また、寸又川源流部の国有林内に約4600haに及ぶ原生林を保護する「森林生態系保護地域」が設定されている。その他、大井川流域には特別保護地区1ヶ所、鳥獣保護区11ヶ所、銃猟禁止区域5ヶ所が設定されている。

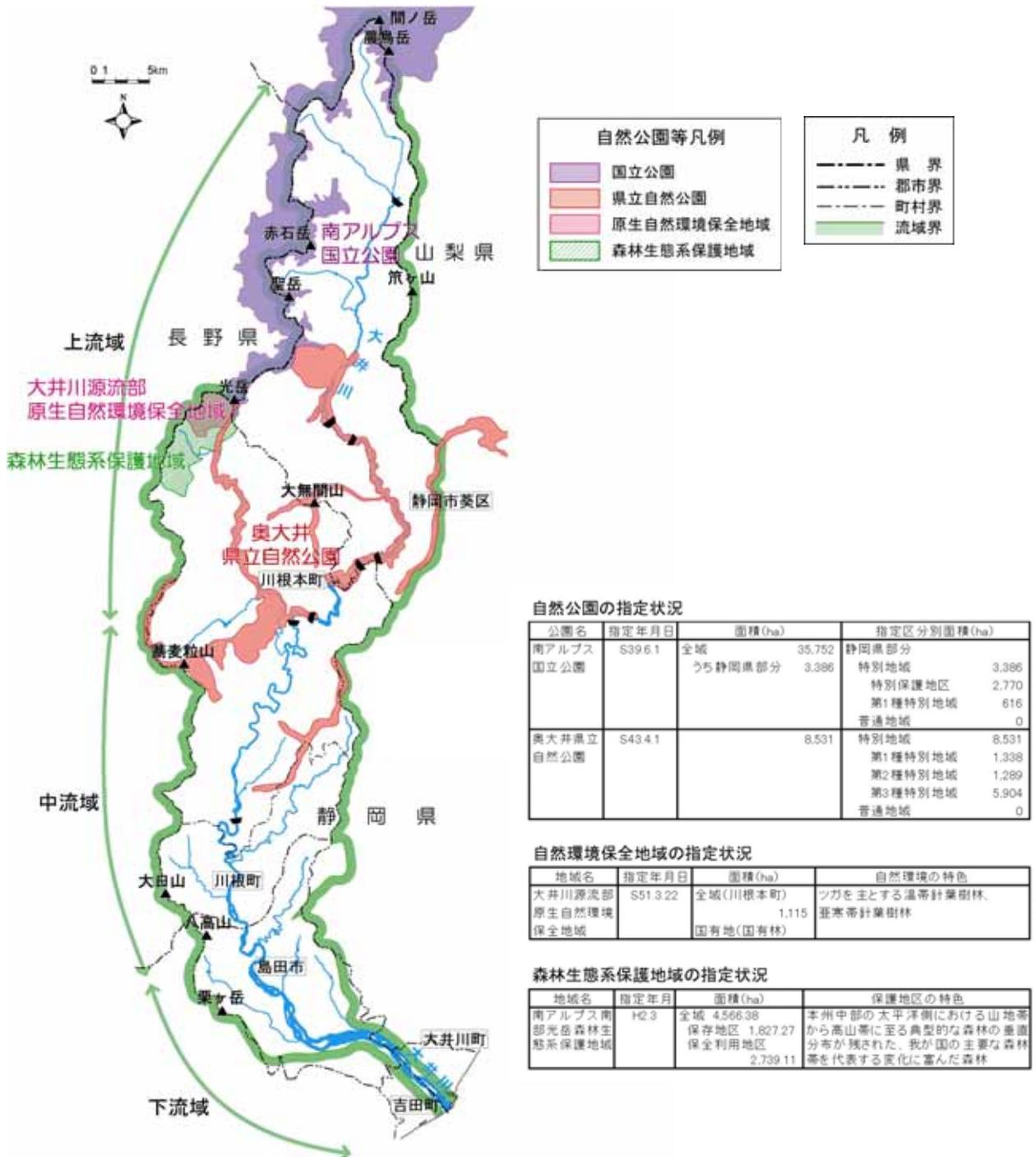


図 2-3 大井川流域自然公園等位置図